



第18回 木村奈保子の 音のまにまに

ブラジルの映画を見たことのある人も多いのではないだろうか？ 海外映画に代表されるハリウッドとは違い、独特のリズム、テンポ感が感じられる作品が多い。8/13に公開される「ストリートオーケストラ」は、リアルなシーンに惹かれる映画である。ヴァイオリニストの主人公の演奏がスラムの子どもたちに与える影響が見どころである。

「ストリートオーケストラ」ブラジル映画 ムヴィオラ配給

ブラジル映画は、名作が多い。「黒いオルフェ」(1959年、仏・伊・ブラジル合作)、「セントラル・ステーション」(1998年)、「シティ・オブ・ゴッド」(2002年)、「フランススコの二人の息子」(2005年)など、この国の社会背景と音楽は特筆すべきものがある。

貧困から生まれる音楽、社会と暴力に立ち向かう音楽、民族としてのリズムを放つ音楽。劣悪な環境から逃れる、生きる手段としての彼らの音楽のパワーは、これまでもさまざまに、描かれてきた。

そして、本作は、音楽を教育の手段として定めたNGO団体がバックグラウンドになっている。ブラジル人がクラシックを？ ヴァイオリンを？ 譜面を？

ブラジルサウンド好きの音楽ファンも興味を抱くポイントだろう。

主人公のブラジル青年は、プロのヴァイオリニストだが、オーケストラのオーディションでは緊張して演奏ができない、そんな心の問題を抱えている。

かくして、主人公はNGO団体で、スラムにある公立高校の生徒たちにヴァイオリンを教える仕事に向かう。

しかし教室は、野外で、マナーのない生徒たちはまさに野生の動物のようだ。譜面も読めない、クラシックなど聴いたこともない生徒たちを前に、青年は、いかにバッハやモーツァルトやパガニーニの魅力を伝えることができるのか？

予告編にも少し入っているが、悪の一味に取り囲まれた主人公が「何を持っている？ そのヴァイオリンを聴かせてみる」と言われて、とっさに見事な超絶技巧を聴かせる。荒廃した背景のなかに響き渡るソロ演奏は、圧巻だ。

決して、オーディションでは発揮できない、本来の自分の音……。彼の演奏に舌を巻くマフィアたちのリアクションが新鮮で、物語の展開は実に映画的だ。

生死に関わる危険と隣り合わせの環境で、教師となったヴァイオリニストは、いかに生徒たちと演奏活動を育んでいくのか？

スラムとクラシック演奏のギャップ……ヴァイオリンどころか、ほかの学業どころでもない生活苦と家族の問題を抱えるなか、犯罪グループ、あるいは一歩手前の不良たちの心を救うことはできるのか？

音楽映画としてうまいのは、全編に渡り、ブラジル音楽、ヒッ

プロップなどポップな曲とクラシック音楽とが交差する合わせ具合。とってつけたようなクラシックものではなく、民族音楽に根付いたブラジリアンのクラシックリズムが展開される。

まったく異なるジャンルの音楽が、見事に行き来する楽しさ。この音楽映画としてのセンスが、劇映画のクオリティをかかなりのレベルに上げている。

ちなみに、ドキュメント風のこのドラマには、スラムの子どもたちも登場している。彼らエキストラの暴力シーンを撮影するとき、役者や演出という枠を超えて、「本気」を出しすぎ、何度も撮影が止まるほど、リアルなシーンとなった。ドキュメントタッチの迫力があるのは、そのせいである。



ストリートオーケストラ ©gullane

8月13日(土)ヒューマントラストシネマ有楽町が全国順次ロードショー!!

配給:GAGA

監督・脚本:セルジオ・マシャード[セントラル・ステーション](助監督)

出演:ラザロ・ハーモス、カイケ・ジェジュース、サンドラ・コルベロニ

特別出演:サンパウロ交響楽団、エリオポリス交響楽団

原題:Tudo Que Aprendemos Juntos

2015年/ブラジル映画/103分/カラー/シネスコ/5.1chデジタル 字幕翻訳:蓮見玲子

公式サイト www.gaga.ne.jp/street

ロカルノ国際映画祭クローズング作品 サンパウロ国際映画祭観客賞受賞

宣伝お問い合わせ:ムヴィオラ 03-5366-1545 info@moviola.jp

<STORY>

ブラジル最大のスラム街。運命に立ち向かうために、子どもたちが手にしたのは「ラップ」でも「サッカー」でもなくクラシック音楽だった。憧れのサンパウロ交響楽団のオーディションに落ちたヴァイオリニストのラエルチは、失意のなか生活のためにスラム街の学校で音楽教師を始めるが、5分たりとも静かにできない子どもたちに愕然とする。ある時、ギャングに襲われたラエルチは、見事な演奏で逆襲する。感動したギャングが銃をおろしたと聞いた子どもたちは、暴力以外に人を変える力があることを知る。やがて子どもたちは音楽の与えてくれる喜びに気付き、ラエルチもまた情熱を取り戻す。そんな矢先、校長から次の演奏会で最高の演奏ができなければ、学校の存続は難しいと告げられる。一世代のステージにしようとするラエルチと子どもたちに、思わぬ事件が待ち受けていた――。



NAHOK INFORMATION www.nahok.com

Fabric from
Germany,
Made in Japan



NAHOKではフルート、クラリネット、オーボエなどの管楽器のケースのほか、ギター、ベース、ウクレレなどのケースも製作しています。そして、ヴァイオリンのケースガードも製作を開始!